

株式会社ジュピターテレコム

2006年12月期決算説明会

質疑応答（要約）

開催日：2007年1月30日

開催場所：丸の内マイプラザ

サービスについて

Q 現在、ケーブルテレビ業界では地震事前告知の実証実験や子ども見守りサービスの開発などが行われていますが、それらについて J:COM はどう取り組んでいきますか。

A 地震の事前告知サービスについては、複数の会社と話をさせていただいており、様々な実験を行いながら今後の商用化を検討していきます。

子ども見守りサービスについては、それだけに限定せずに安全・安心という切り口で、様々なメディアを使ったサービスを開発、商用化すべく、検討を進めています。

Q FMC サービスの商用化を今期の目標の一つに掲げられていますが、具体的にどのような内容をお考えですか。携帯電話事業について今後の方向性をお聞かせください。

A FMC は携帯のネットワークと Wi-Fi(無線 LAN の標準規格のひとつ)のネットワークを使って、1台の電話を家の中でも外でも利用できるもので、その利便性を当社のサービスとして商用化していきたいと考えています。FMC のサービスは技術的にはどの携帯事業者のネットワークともつながることが可能で、特定のキャリアにこだわらず、商用化に向けて検討を続けております。

Q 12 月にデジタルコンパクトを導入しましたが、加入動向はいかがですか。デジタルサービスからのダウングレードや、その他見通しとの違いなどがあれば教えてください。

A デジタルコンパクトは 12 月の初めから、全国に先駆けて関西地区で展開を始めたばかりで、現時点では全体の加入動向についてご報告できる状況にはありません。

ただダウングレードは現段階ではほとんど起こっておりません。営業手法等のマネジメントによって、十分コントロールできると考えております。また、テレビの加入獲得を大きくのばせる可能性があると感じています。

Q ベーシックチャンネル数の削減について、時期・チャンネル数などの具体的な考えがあれば教えてください。

A これまでは、質よりも量に偏重する傾向がありましたが、テレビサービス向上のため、量から質へと転換を図る中で、チャンネル数の削減を検討していくつもりです。ただし、数を減らすことが目的ではなく、ベーシックチャンネルの価値・質がどうすれば上がっていくかを真剣に考え、番組供給会社に対する要望も出していきたいと思っております。

競合環境、M&A について

Q 今期も M&A の可能性はありますか。

A 良い案件があれば積極的に検討していきたいと考えています。ただし、相手のあることですので、今後について具体的には申し上げにくく、今期の予算には含めておりません。

Q 最近 KDDI がケーブルテレビとの提携を進めていますが、これは J:COM にとって脅威なのでしょうか。今後 M&A を進めていく中で、KDDI と競合する状況があるのか、それとも協働していく可能性もあるのか、お聞かせください。

A ケーブルテレビ会社の場合はエリアごとに分かれていますので、当社に直接影響することはほとんどありません。ただ、ケーブルウエスト社のように当社グループの傘下に入ったケーブルテレビ会社が KDDI のサービスを行っている場合、サービスの内容・料金体制など、KDDI と協議すべきことがたくさん出てくるのは確かです。

Q 大手通信事業者との連携が課題として上がっていますが、どのような状況でしょうか。

A 競争環境が激しくなり、放送と通信の垣根が無くなっていく中で、様々な形での提携が可能だと思います。ポイントは、当社にとってメリットのある提携かどうかということです。複数の事業者と可能性を探り、結果的に win-win の関係が築ける提携ができるのであれば、積極的に検討していきたいと考えています。

06 年業績、07 年業績見通しについて

Q 2007 年の連結業績見通しについて、営業費用で特に増えるものがあれば教えてください。また、新規子会社取得に伴う借入金増加による影響額と少数株主持分損益の影響額を教えてください。

A 営業費用の主な増加要因については、ケーブルウエスト社の取得に伴う費用の増加と、加入連動による番組購入費等の増加が挙げられ、全体で前期比約 17% の伸びを見込んでいます。

また、支払利息は前期比で約 13 億の増加、持分法投資利益、少数株主利益等で約 7 億の減少を見込んでいます。

Q 今期の業績計画の中で、設備投資と減価償却費をどの程度見込んでいるか教えてください。

A 設備投資については、06年度に対し約7%の増加を見込んでいます。新規取得会社に関連する設備投資の増加が主な理由です。減価償却費については、加入獲得に関連する固定資産の増加、及びケーブルウエスト社分の増加に伴い、前期比20%強の増加を見込んでいます。

Q ケーブルウエストグループを含めて ARPU は今期どの程度を見込んでいますか。ケーブルテレビ、高速インターネット、電話のそれぞれについても教えてください。

A 今期のARPUはケーブルウエストも含めて約7800円の後半を見込んでいます。そのうち、ケーブルテレビは5200円強、高速インターネットは4600円台後半、電話は約2800円を想定しています。ケーブルウエストを除くと、ARPU全体では8100円強、ケーブルテレビは5300円後半、高速インターネットは4700円後半、電話は2800円半ばと想定しています。

Q ケーブルウエストについて、OCF マージンは単純計算で34%程度、J:COM 全体の40%弱より低いですが、この改善についての見込みを教えてください。

A サービス全体のARPUを上げていくことによって改善していく計画です。2007年の連結OCFは前期比20%前後の増加、OCFマージンは39~40%を見込んでいます。

Q 減価償却費の今後のトレンドを教えてください。

A 減価償却費は、今年度はケーブルウエスト社分の償却が加わることによって、昨年度よりも売上げに対する比率が若干上がりますが、来年度以降は徐々に低下していくと考えています。

Q 今期のRGUの伸びはどの程度を見込んでいますか

A 10%強の伸びを想定しています。

Q 今期は評価性引当金の戻りは想定に入れていないということですが、前期末の残高はどの程度か教えてください。

A 2006年12月31日現在の残高としては約47億円です。

以上